

令和3年 第3回定例会

いっぱんしつもん

9月9日に、7名の議員から町行政に対する一般質問がありましたので、要旨をお知らせします。



住民の声を町行政に

町のコンプライアンス（法令等遵守）の取り組みは



渡辺 倫代 議員

渡辺議員 現在のコンプライアンスは、法令等遵守とされ、単なる法令遵守にとどまらず、法令を超えた社会規範や社会道徳、住民の期待に配慮することなど、広く捉えられるようになってきている。そこで妹背牛町のコンプライアンスに関する条例及び関連規則は、時代に即して整備されているのかどうか、また田中町長の考えを伺う。①空知では月形町、北竜町のように、地方公務員法第29条に基づき、職員懲戒処分に関する規程は、処分の公開も含めて詳細に整備されている。妹背牛町には、

交通事故に対する訓令はあるが、他は、詳細なものはなく、組織の内外に向けて隠蔽にならないよう、処分の公表に関する整備されるべきと思うが、コンプライアンス体制の保持と推進について具体的に伺う。②公益通報保護法をふまえた地方公共団体の通報対応に関するガイドラインに沿い、公益通報（内部通報）者を守る整備も必要なのではないか。公益通報があった場合の調査をする、また町長が措置することに意見を言えるような役割のものを設置することは、法令遵守の推進を図るため必要なのではないかと考えるがいかがか。③田中町政4年間の組織管理は、答弁頂いたが、内部統制を進めて行くことにより、不正や事故の発生防止ばかりではなく、見方を変えれば究極の行政改革のさらなる推進のための仕

組みであるので、国からの内部統制制度の導入ガイドラインに従い取り組みられることも視野にいれ進めるべきだと思いがいかか。④全世界の人が使うQura(クオーラ)という実名登録のネットサイトQ&Aに、私見を述べておられるがコメントごとに「妹背牛町の町長職」と記されており、内容によっては、職員の困惑とモチベーション低下を耳にする。またそのサイトの経歴は和光大学卒業と記されており、町の広報の経歴と整合性が取れない。町長という公人としてのコンプライアンスをどのように考えているのか伺う。



総務課長 ①コンプライアンスに関しては、その多くが法令等の遵守義務などを定める地方公務員法に基づいている。町としても職務上のルールを定める職員職務規程や法令違反などに適正な処分を科すための職員分限懲戒審査委員会規定、あるいは交通事故等に対する処分基準など関係規定を設けている。本町では不祥事対策としてのコンプライアンスに限定した条例等は特に制定していないが、職員研修の実施など法令遵守はもとより、倫理の向上に努めることでその体制を保持するよう取り組んでいる。また、懲戒処分の公表については、職員の分限及び懲戒処分状況という事案件数のみ公表しているが、公表に関する基準はないので、他町を参考に整備の検討をしていきたい。

町長 ②内部通報者の保護法に關してのガイドラインについては、私は賛成である。何か不都合なことが起きたときに立場によつて発言が封じられることがないようすすべきという意味では検討する必要のある内容だと思つている。上司の命令にはよほどのことがない限り従うという自治体の規則と内部通報者を守るという2つの車輪がうまくかみ合つてコンプライアンスを維持できる町だと思つている。

③地方自治体の職員、組織というのは地域全体に対する奉仕者として公平、中立な姿勢が求められている。現場と接している地方公務員の倫理感や使命感は、価値観が多様化する中で、より強く強いコンプライアンスの形成が必要である。基準を定めることによりコンプライアンスの意識が高まるとの指摘ととらえ検討をした。



④私がQuoraというSNS上のサイトで、質問に答える形で参加しており、職業欄に妹背牛町長と書いているのは事実である。また、和光

ワクチン接種と経済活動再開の関係は

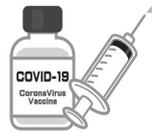


鈴木 正彦 議員

大学卒業とあるが、私は5年中退しており卒業はしていない。それはQuoraの方に言つて削除してもらおうようにしたいと思う。

しでも動かすことを考えると、新型コロナウイルス感染症対策本部会議等において、接種済証や陰性証明を利用して町内限定の経済活動再開に向けた緩和策の議論が必要であり、そのような特別ルールを検討されたのか伺う。③最後に、ワクチン接種率を上げることの大切さを町長としてどのように考えているのか伺う。

鈴木議員 6月定例会の時にワクチン接種と感染症対策について質問をさせていただいた。その際は、65歳以上の方は87%が接種済みで、64歳以下の方については、9月16日を目途に8割の方が2回目の接種を終了できるように予約枠を設定しているとのことだった。①現在ほどのくらい進んでいるのか。②また、イベント等を開催する目安についても質問をさせていただいたが、国や道からの要請、協力依頼に基づき判断することだった。町内の経済を少



健康福祉課長 ①現在の接種率については、町民全体で1回目81.5%、2回目は70%で、

65歳以上については、1回目91.9%、2回目90%。64歳以下は1回目71.7%、2回目51.4%となっている。妹背牛診療所での接種は、当初9月16日終了予定だったが、若干延ばし9月30日の終了を予定しており、9月末までの全体接種率は1回目、2回目とも80%を超える見込みとなっている。

今後の接種については、深川市で5か所の医療機関にて接種ができることとなっている。



総務課長 ②本町の対策本部会議については、国や北海道の基本方針や各種の要請、協力依頼を踏まえ、公共施設の利用制限など感染症の発症に備えての対策をはじめ、発生時の防疫や蔓延防止策、町民の健康確保、情報収集及び提供などをテーマにこれまで43回の会議を重ねてきている。しかし、本部会議では、本町における経済

対策の企画立案などの協議検討は行っていない。また、本町独自の特別ルールも現段階では行っていない。

副町長 ②本町の特別ルールという事だが、地方創生臨時交付金により、飲食店、酒店、商店などへとこれまでに支援をさせていただいた。また、経済が活性化するようにと全町民に対し5千円の商品券等も配布させていただき、私共はこれが本町独自の支援策であると考えている。また、ワクチン接種済証の活用については、接種したくてもできない方もおられ、差別や偏見につながるという懸念がある。それをルール化というようなことになれば、その方をどうフォローしていくのか。国がそのガイドラインを示していただきたいし、そのガイドラインが本町に適用するかどうかは、本部会議等で検討していかなくてはならない。



町長 ③ ワクチンが人々の命と健康を守り、かつて感染症予防に果たしてきた役割が大きいことは言うまでもない。その一方で、ワクチンが深刻な副反応を引き

起こした例があることも事実である。ワクチンの接種率をもって経済活動を支援するという判断を自治体がするといふのは極めて厳しい状況と

うらら公園の更なる充実は



石井 喜久男 議員

石井議員 今年は気温の高い日が多く、うらら公園のウォーターライダー周辺は

売店や更衣室も新設され、多くの方に利用していただいた。そこで公園の今後について伺う。①パーベキュー広場へは車が入れず物を運ぶのに不便と聞く。町道下2号線側から出入りできる駐車場設置が必要と思うがいかがか。②利用頻度の少ないウォーターライダー北側をテントが張れるよう緩やかに造成してはどうか伺う。③次年度に公園

遊具の入れ替えを計画しているが、今後もさらなる観光振興のため、公園の計画的な改修・修繕が必要と考えるがいかがか。④役場庁舎裏側の四阿(あずまや)は、今後利用する予定が無ければ公園内に移設してどうかと思うがいかがか。

企画振興課長

①パーベキュー広場利用者の駐車場設置については、荷下ろし等が大変な場合は、一時的に公園内を車で通行できるように「通行証」を発行しているため、利用者からの要望や苦情は特に聞いていない。焼き肉などで利用されるほとんどの方が、公園入口の青テントを利用しており、新たな駐車場設置の考えはない。②ウォータース

ライダーの町道下2号線側は約2千㎡以上の広大な面積で、さらに地面の起伏が大きいため、造成するとすると多額の経費が必要となる。公園の利用状況や管理体制、そして財政的負担を勘案すると整備は難しい。③過去の公園遊具劣化点検に基づき、次年度に経年劣化が進んでいる遊具を対象に安全面を最優先として改修・修繕を行う。その他の遊具は日常の安全点検及び補強・修繕をすることで継続して利用できると考えている。今後については、財政状況に応じて、計画的に遊具の修繕又は入れ替えを行う。



遊水公園うらら遊具

総務課長

④役場庁舎裏側の四阿は、築36年が経過し、老朽化から今後の利用方法は考えていない。また、約50㎡の建物であり、公園内に設置ができる平坦な空き地が無く、移設は難しいと考える。

駅前交差点の交通安全対策を

石井議員 駅前交差点の交通安全対策について伺う。以前より、駅前の道道と町道が交わる交差点について、事故の危険性があると指摘をしていたが、8月10日に人身事故が起きてしまった。町の職員が何度か現場を見に来ているが、その後の対策がなされていない。今後重大事故を発生させないためにも早期の対策が必要と考えるがいかがか。



総務課長 事故後、対策を協議し現時点での交通安全対策として、一時停止を促す看板設置や停止を意味するドット線のほか、道路と路外の境界線整備等に約50万円の補正予算を計上している。今後、警察とも協議の上、指示に従い早急に取り組みたい。

町長 駅前交差点の危険性にもう少し注意を払っていたらどうなっていたかは、指摘のとおりであり、重大事案と考えると少しずつ先々に検討をする。

米価下落への対応と今後の農業行政は



広田 毅 議員

広田議員 本町の基幹産業である農業、とりわけ米を取り

巻く環境は、人口減少、食の多様化、コロナ禍に伴う外食需要の激減で厳しさを増し、米価の急激な下落による農業経営への打撃は非常に大きい。①現在の米をめぐる状況と本町への影響をどのように受け止めているか伺う。②昨年の12月定例会において町長

町長のコロナワクチン接種についての考えを問う

の町長選での公約に感染症対策とワクチン接種を加えるか見解を伺う。



宮崎 博 議員

えを伺う。②SNS上のQuoraというサイトに妹背牛

町長 田中一典のフルネームで投稿しており、ワクチンは打つべきか?の問いに、田中町長は立場上打たなければならぬ時が来たら、国産ワクチン開発を待つて打つと記している。また、新型コロナウイルスは弱毒性なのに周囲

宮崎議員 人々が期待するワクチン接種も感染者が15分の1に、重症者、死亡者も減っており、確実に効果が出ていると厚生労働省でも発表している。本町でも医療従事者から高齢者、そして64歳以下の人たちと関係者の努力により順調にワクチン接種が進んでいる。しかし、このワクチン



町長 ①私自身は、町長職をやり不摂生もたたつて約10キロ太ってしまった、主治医に相談し、ワクチン接種にはアレルギー性の反応が危ないとの指導をもらった。国が進めるワクチン接種の有効性は少しずつ確認されているが、中・

接種の予算執行者である町長が、ワクチンに対して理解が足りないのではないかと町民から疑問の声が聞こえる。①町長は、スポーツマンでもあり、ワクチン接種をできないような基礎疾患もあるようには見えないが、なぜワクチン接種をしていないのか。町長が自ら接種を行い、町民に安心・安全を訴えることも町長として大事な仕事と思うが考

えを伺う。②SNS上のQuoraというサイトに妹背牛町長 田中一典のフルネームで投稿しており、ワクチンは打つべきか?の問いに、田中町長は立場上打たなければならぬ時が来たら、国産ワクチン開発を待つて打つと記している。また、新型コロナウイルスは弱毒性なのに周囲

が狂ったように怖がっているとも記しており、ワクチン接種を否定しているように思えてならない。仮に、そうであるのなら国に対してもそのような要請をしているのか何う。③コロナ禍において、マスク

と同じようにワクチン接種もエチケットと思う。町民はその効果に期待しており、公の立場にある町長が町民の不安をおおる投稿をしたり、言葉を発したりということは、絶対にあつてはならない。町長は人と接することや、陳情等で上京することも多く、周囲への配慮も考えるべきである。そこで、3回目のワクチン接種が検討されている中、11月

の町長選での公約に感染症対策とワクチン接種を加えるか見解を伺う。

町長 ①私自身は、町長職をやり不摂生もたたつて約10キロ太ってしまった、主治医に相談し、ワクチン接種にはアレルギー性の反応が危ないとの指導をもらった。国が進めるワクチン接種の有効性は少しずつ確認されているが、中・

接種の予算執行者である町長が、ワクチンに対して理解が足りないのではないかと町民から疑問の声が聞こえる。①町長は、スポーツマンでもあり、ワクチン接種をできないような基礎疾患もあるようには見えないが、なぜワクチン接種をしていないのか。町長が自ら接種を行い、町民に安心・安全を訴えることも町長として大事な仕事と思うが考

えを伺う。②SNS上のQuoraというサイトに妹背牛町長 田中一典のフルネームで投稿しており、ワクチンは打つべきか?の問いに、田中町長は立場上打たなければならぬ時が来たら、国産ワクチン開発を待つて打つと記している。また、新型コロナウイルスは弱毒性なのに周囲

が狂ったように怖がっているとも記しており、ワクチン接種を否定しているように思えてならない。仮に、そうであるのなら国に対してもそのような要請をしているのか何う。③コロナ禍において、マスク

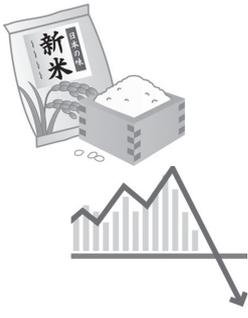
と同じようにワクチン接種もエチケットと思う。町民はその効果に期待しており、公の立場にある町長が町民の不安をおおる投稿をしたり、言葉を発したりということは、絶対にあつてはならない。町長は人と接することや、陳情等で上京することも多く、周囲への配慮も考えるべきである。そこで、3回目のワクチン接種が検討されている中、11月

の町長選での公約に感染症対策とワクチン接種を加えるか見解を伺う。

町長 ①私自身は、町長職をやり不摂生もたたつて約10キロ太ってしまった、主治医に相談し、ワクチン接種にはアレルギー性の反応が危ないとの指導をもらった。国が進めるワクチン接種の有効性は少しずつ確認されているが、中・

接種の予算執行者である町長が、ワクチンに対して理解が足りないのではないかと町民から疑問の声が聞こえる。①町長は、スポーツマンでもあり、ワクチン接種をできないような基礎疾患もあるようには見えないが、なぜワクチン接種をしていないのか。町長が自ら接種を行い、町民に安心・安全を訴えることも町長として大事な仕事と思うが考

町長 ①令和2年産の民間在庫が、6月末に219万トン



は、収入保険には補填率等の問題があり国に見直しを求めたい方向で検討すると答えているが、その後どのように対応したのか何う。また、町独自の支援対策を行うにも財源が不足する。現在は国からのコロナ関連の交付金があるが、このような類いの交付金がなければ検討していくつもりがないのか。より事態が悪化しないと検討に着手もしないのか何う。③東川町の公設民営の酒蔵や、美唄市のカゴメ株式会社とタイアップしたトマト栽培など、農業を利用したまちづくりが道内各地で行われている。これらは農業経営基盤の強化や米価下落対策、ひいては町の将来につながるものと考えるが、町長のリーダーシップによる新たな事業への取り組みの考えを伺う。

と推移し、適正水準を超えた状態であり、米価下落の傾向が今後も続くかと心配をしている。生産者の方も一部を主食用米から飼料米へシフトし、リスク分散を図っておられるが、農業経営への影響は大きい。収入保険または、ナラシ対策での補償がどこまで施されるかを注視し、支給までのつなぎ融資や利子補給について関係機関と検討していく。②国への収入保険見直しを求める要請は、空知町村会で取り上げてくれるよう話をしたが、道や米対協とも歩調を合わせていくとなり預かりとなった。また、町独自の支援策は、下落した米価が戻るまで二、三年はかかると考えており、単に今年どのように支援するのかというだけではなく、長期的に予測を立てながらJAの下、3町で相談をしている。③農業によるまちづくりについては、これから若い方たちと話し合う機会をつくる必要がある。行政が旗を振って農政を引っ張る前に、農家の方たちがどう考えているのか、話をしっかり聞き、検討をしていきたい。

疾患増強リスクを評価することは困難である。現時点で、人体での疾患増強リスクは不明であることから、ワクチン接種後に引き続き情報を収集する。」と書かれている。また、自らも打って接種の先頭に立つべきという質問には、安全だということまで私は言える気持ちにはなりにくい。ただ、私の立場は、国の指示に従い、希望する町民に速やかに接種を行う使命も一方にある。②サイトに町長名で投稿していたことに関しては削除し、これから充分注意するが、長期的な毒性が分からず、肝臓・脾臓・副腎、そして女性の方は生殖器に溜まるといふデータも出ていて、それは全くの嘘ではない。私はコロナウイルスは徐々に弱毒化していくと考えているが、ワクチン接種により感染拡大をしていく可能性があると言ふノーベル賞学者もいる。個人の責任において打たざるを得ないというのが、国が示した態度であり、空知総合振興局に対し、薬の開発と終息への目安、またコロナ禍をワクチンだけで抑えきるこ

とができるのかを申し上げた。③何かあった時に誰かが責任を取ってくれるとは限らない。一人一人の人生を大事に真剣に考えて今回の事態に立ち向かっていただきたい。

町民会館の建設に向けて



田中 春夫 議員

田中議員 第9次総合振興計画での生涯学習の推進について伺う。以前のアンケートでは、今後10年間で整備が必要な施設に14・7%が町民会館の建設と回答しており、町民からは様々なビジョンが語られている。①そこで、建設に関わる問題について、プロジェクトチームを作り町民の意見を聞く体制ができないか伺う。②また、高齢者が利用しやすいバリアフリー化やエレベーターの設置ができないか伺う。

もちろん政府の指示に従ってワクチン接種の対応は行うが、旗を振って安全だからみんな打ってくれというつもりは無く、選挙公約に書くという可能性は今のところ低い。

教育課長 現在の町民会館

は、建設から45年以上が経過しており、令和9年度から老朽化による建て替え工事を予定している。しかし、この建て替えについては、財政状況も鑑み事業年度がずれ込むことも想定される。また、令和6年度から小・中学校の建て替え事業を予定しているため、学校建て替え事業の進捗状況を見ながら進めていくことになる。①町民会館に求められる機能は、講習会・講演会の開催など地域の学習拠点



町民会館

としての機能、サークル活動など町民の交流拠点としての機能、災害時の避難場所としての機能など様々であり、本町にとってどのような機能を備えた施設が必要なのか、今後検討委員会を設置し、協議をしていきたい。②また、高齢の方や体の不自由な方など、どなたにも利用しやすい施設とするため、バリアフ

ムービングハウスとうらら公園の売店は



佐々木 和夫 議員

佐々木議員 温泉施設での宿泊は、これまでのコテージに加え、本年4月より利用が始めたムービングハウス2棟がコロナ禍の中でも多くの利用があったと思われる。さらに、隣接する遊水公園うららのウオータースライダー横には更衣室、シャワー室、そして待望の売店が立ち並んだと

リーをはじめとしたユニバーサルデザインの採用やエレベーターなどの設置についても検討し、その内容は、住民説明会の開催や町政懇談会の場を活用しながら説明させていただく。今後永きにわたって町民の皆さんの活動拠点となる施設であり、多くの意見を取り入れながら進めていきたい。

ころである。テレビでの紹介や町のホームページ、新聞、雑誌等でPRをされていたが、今夏を終え8月末までの利用状況や今後の課題、問題点等について、観光事業としての成果を伺う。



うらら公園売店

企画振興課長 「ムービングハウス」については、4月10棟、5月13棟、6月15棟、7月31棟、8月48棟で合計117棟のご利用があった。

また、売り上げについても8月の会計処理が確定していないが、概算で106万4千円の売り上げがあった。今年7月20日にオープンした「うらら公園売店」については、ウォータースライダーが賑わう7月～8月のみの営業で、かき氷やフランクフルト、ドリンクなどを販売している。

売店全体の売り上げは、7月は20日から始まり12日間で69万円、8月も22日間で69万円ほどあり、計34日間で138万円の売り上げとなったが、材料費、人件費などを差し引くと利益はおよそ半分くらいと考えている。今後の課題、問題点については、在庫がなくなり、売店で週末分の仕入れが間に合わず、一部商品の販売が出来なかった週があったなどの反省点もある。「ムービングハウス」と「うらら公園売店」は、ともに妹背牛振興公社が運営しているので、公社職員と本年の課題

をしつかり洗い出し、来年に向けての改善や新たな取り組み

みについても検証、協議をしていきたいと考えている。

ウォータースライダーの水質管理は

佐々木議員 多くの子供たちで賑わうウォータースライダーだが、①水質検査は実施されているのか。②また、ウォータースライダー内の池について、循環機能はどのようなものになっているのか。雨が降ると周りの砂が入るので、すくい上げを行っているが、少し汚れているという声も聞く。他町の施設では曜日を決めて掃除を行っているところもある。23年を経過した施設であり、交流人口増加のために改修も必要と考えるがいかかか。

機能については地下水を使用し、遊水路を流れた水がポンプ室内にある貯水槽にたまり、そこから水中ポンプでくみ上げ、ろ過装置を通りウォータースライダー、遊水路へと循環する仕組みになっている。清掃については、循環型の施設であり、開設中は停止せず利用をしている。今後の改善については、指摘のとおり何か対策ができないか、調査を含め検討していきたい。

企画振興課長

①ウォータースライダー及び遊水路の水質

については、厚生労働省の基準で設定されており、その基準範囲内の※遊離残留塩素濃度があれば十分な消毒効果があると定義されており、毎日2回の残留塩素測定を行い、水質管理をしている。②循環



ウォータースライダー

※遊離残留塩素とは

水中に投入された殺菌力のある塩素

議会のうごき



20日 経済文教常任委員会



3日 議会運営委員会

〃日 行財政等調査特別委員会

〃日 北空知議会議長連絡協議会

9日 町議会第3回定例会

〃日 広報特別委員会



26日 空知町村議会議長会定期総会

15日 行財政等調査特別委員会

18日 広報特別委員会

26日 決算審査特別委員会

28日